

ピン・ピン・コロリン



部門紹介

東濃デイサービスセンター 松坂

責任者 中嶋 大貴



平成23年2月1日発行



東濃デイサービスセンター松坂 管理責任者 中嶋大貴です。

私は大学を卒業しザイタック初の新入社員として入社致しました。至らぬ私を時に厳しく、時に優しく導いて下さり、社会人として成長させて下さった上司や先輩の方々に感謝し、この会社に入社する事ができ本当によかったです。

東濃デイサービスセンター松坂は、多治見市の東濃メディカルゾーンという医療村内での開設となり、ブレイングループでは新しい試みとなりました。医療機関との連携もより一層強く、地域の方々に安心したサービスの提供をし、在宅生活のサポートをしていきたいと思います。

土岐市の東濃デイサービスセンターと同じくマシーンを使うパワーリハビリを行い、多治見市の要介護者・介護予防の方々のADLやQOLの維持・改善を目指に日々取り組んでおります。

今多治見市では、多種多様のデイサービスが増えてきましたが、各事業所それぞれの特色を活かし、本当の意味での介護度の軽減がこれから超高齢者社会には求められていくと思います。

私の夢は、東濃地区を元気な高齢者の街にしていく事です。そのためにはまず、リハビリを推進していく事が、生まれ育ったこの多治見市への私なりの恩返しだと思い、全力で精進してまいりたいと思います。

これからも東濃デイサービスセンター松坂を宜しくお願ひ致します。



「転ばぬ先の杖」～もしも私の家族が認知症になつたら～

津島市にて長谷川理事長が講演されました。認知症の方には、医学的対応、

介護的対応、社会的対応が大切である。それはなぜか？

例えば、50歳代で、若年性アルツハイマー病を患う。そうすると仕事を失い、年金もなく、住宅ローンも払えない。自宅は競売にかかり、自己破産し、生活保護となる。

この方は何も悪い事はしていない。ただ、病気になつただけである。しかし、社会的フォローがなければ、そうなってしまう現実がある。成年後見制度など、様々な社会的資本をいかに使っていくかが大切である。など、具体的に使える制度や、活用の仕方などお話をされました。



緩和ケアって、なに？

県立多治見病院緩和ケア内科部長伊藤浩明先生より、講演を頂きました。

痛みなどの‘苦痛’というものは、検査などでは測れない。緩和ケアとは、

「死ぬかもしれない病気になった患者さんとその家族に、早いうちから、痛みを含めたいろいろな問題(苦痛)を探して、やわらげて、生きがいを感じられるように働きかけること。」と考えている。そのために、様々な職種、たくさんの施設の方と連携し、地域の病院として機能していきたい。とお話しされました。



講演・勉強会のご案内

担当者	対象者	日 時	場 所	内 容
理事長 長谷川 嘉哉	地域の方	H23.2.13(日) 13:30～16:30	春日井市総合福祉センター 第1集会室	春日井市民公開講座
東濃訪問看護ステーション 看護師 藤吉 由美子	地域の方	H23.2.19(土) 14:00～15:00	土岐消防本部3F	第5回健康サポートクラブ「訪問看護とは」

おすすめしています

イチョウ葉エキス GBE-24Dr

医療法人ブレイングループは、「ずっと我が家で暮らしたい」を応援しています。

人が介護を必要とする理由、それは、動脈硬化による 麻痺 と 認知症 といわれます。

イチョウ葉エキスは血液の流れをスムースにし、動脈硬化を予防します。

活性酵素を減少させ、癌やアルツハイマーを予防します。イチョウ葉エキスは、私たちが自信を持ってお勧めしている健康補助食品です。



ご注文・お問い合わせ先

TEL 0572-54-1103 FAX 0572-54-1093

〒509-5112

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

医療法人ブレイングループ

株式会社ザイタック 担当 小森 / 倉田

ご注文確認後、1週間程度でお届けします。

送料無料 ※90粒(約1ヶ月分)6,300円

代金引換にてお支払いください。

土岐内科クリニック内でも販売しています。

BrainG
ブレイングループ
BRAIN MEDICAL CORPORATION

<http://brain-gr.com>

診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
訪問診療						
16:30 ~ 18:30	●	●	●	●	●	

土岐内科クリニック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-12

TEL 受付 0572-53-0656

外来リハビリ 0572-53-1107

FAX 受付 0572-53-0658

外来リハビリ 0572-53-0667

株式会社ザイタック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

TEL 0572-54-0201

FAX 0572-54-0378

交通のご案内



● 東濃訪問看護ステーション

☎ 0572-54-0355

● 東濃介護支援センター

☎ 0572-54-1171

● ナーシングディ

☎ 0572-54-0355

● 東濃デイ脳リハビリセンター

☎ 0572-53-1101

● 東濃デイサービスセンター東館・西館

☎ 0572-54-1103

● 東濃デイサービスセンター松坂

☎ 0572-20-1199

● 東濃デイリハビリセンター

☎ 0572-54-1196

● 東濃デイサービスセンター元町

☎ 0572-53-1010

● 東濃デイサービスセンター滝呂

☎ 0572-43-6696

イノフォメーション

ブレイングループホームページには、こんな情報も載っています！



《ブログ》

長谷川理事長と、橋本院長が、日々の出来事、情報を発信しています。

《インターネットラジオ》

長谷川理事長が発信する

「介護事業の知的創造コンサルティング」が、無料で聴けます。

《認知症無料相談》

認知症専門医長谷川理事長に無料相談できます。

《勉強会・講演案内》

各種勉強会・講演案内をしています。

URL:<http://brain-gr.com/>

是非一度、ホームページをご覧ください。

き業展 1月28、29日 セラミックパークMINO

第8回き業展に参加しました。

人と人をつなぎ、さまざまな分野で新たな価値ある関係を築き、地域経済を突き動かす大きなエネルギーを創造する事を目指す、き業展。地域の方、地域の企業と「つなぐ力」を共有してきました。



春山満氏講演会 1月22日

24歳で進行性筋ジストロフィーを発症。現在首から下が動かせない状態である。しかし、不屈の精神でその状況を打破。不動産業や介護ビジネスへと事業を広げ、今は日本全国をとびまわっている。五体満足であってもなかなか出来る事ではありません。それだけの障害を抱えながらここまで事業を成し遂げた春山氏の生き方に感動しました。

お客様の声 ①

これからも元気に利用
させていただきます！

現在 当サービスをご利用中の方に意見をいただきました。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。



訪問看護師さんは、べっぴんさんばっかり来てくれるで楽しみ。肩をもんだり足をさすったり、血圧測つたりして、体の調子をみていくてくれる。
東濃ディサービスも、とても楽しみ。家にいるよりずっといい。
もう8年目になるパワーリハビリは、初めは効かんと思ったが、やっているうちに動きが良くなっていった。続けていて良かったと思う。
どれもこれも、ケアマネージャーさんが相談にのってくれるからできる事。
何でも話が通じる事はありがたい。

柴田 正身様

お客様の声 ②

家では夫婦二人きりのため、どうしても話題が少なかったが、ディサービスを利用するようになり、友達も増え、ストレスが少なくなりました。特にパワーリハビリを行った事により、体の不自由が緩やかに進んだため、家の生活や、家の介護がしやすくなり、非常に良かったです。また、昨年の春からは、訪問リハビリなど全てのサービスを利用して頂きました。長谷川先生をはじめ、職員の皆様に大変感謝しております。ありがとうございました。

故瀧信子ご遺族様



ホムドクスクエア

低温火傷



東濃訪問看護ステーション
看護師 藤吉 由美子

こんにちは、はじめて東濃訪問看護ステーションです。

今年からホムドクスクエアに参加させて頂くことになりました。皆様の生活に役立てられるような情報を看護の視点から提供できたらと思います。今回は低温火傷(ていおんやけど)です。

低温火傷ってなに？

「気をつけて湯たんぽを離していたんだけど…、水ぶくれができちゃって！」

毎年、必ず聞かれる言葉です。

やけどは主に直接火に触れたり、熱湯が掛かったりした時になりますが、低温火傷は体温より少し高い温度(44~46°Cくらい)の熱さに長く触れることで起こります。

最近は湯たんぽ以外にもホットカーペット、電気毛布、カイロ、ノートパソコンなどが原因で起こるケースが増えています。

注意が必要なのは乳幼児や高齢者の方、身体を上手く動かせない環境にある人が暖房器具に長く接触し続けてしまうことで発症するケースが増えています。最も起こりやすいのは足です。足は体の中でも知覚が鈍く、血行が悪いからです。とくにかかとやくるぶし、すねなどは、皮膚のすぐ下に骨があるため毛細血管が圧迫されて血流がとどこおり、その部分に熱がこもって低温やけどをおこしやすくなります。

低温火傷の症状

低温火傷は低い温度でゆっくり進行するため、気が付いた時には皮膚の深いところまで達し、重症になっている場合があります。

やけどはその熱傷の深度によってⅠ・Ⅱ・Ⅲ度に分類されます。

Ⅰ度熱傷…皮膚が赤くなったり、腫れて痛みを伴います。

数日程度で痕を残さず治るもののがほとんどです。

Ⅱ度熱傷…皮膚が赤くなって水泡が出来たりします。

傷口から感染をして悪化しなければ、痕も残らず、浅いものは3週間程度で治ります。

Ⅲ度熱傷…皮膚の深いところまで及ぶ火傷です。

白くなったり、ひどいときには焦げたように黒くなります。痛みを感じる神経が損傷され、あまり痛みを感じません。

治療方法

原則として患部を冷やして様子を見ていくことになります。ただ冷やすことで低温火傷を治すことは難しく、これ以上悪化させないための方法となります。大きな水泡(直径2センチ以上)が出来て皮膚の深いところまで達してしまった火傷の場合は無理につぶしてしまわず、早めに医療機関を受診することをお勧めします。

予防

足先は冷たく、なかなか温めることが難しい所です。温めようと靴下を履いたりしますが、足首の短いタイプの靴下ですと、ゴムの部分でますます血行を悪くしてしまいます。膝下まである靴下やレッグウォーマーの使用をお勧めします。また電気毛布を使う場合、直接熱線が肌に触れる火傷の原因になるので、電気毛布と体の間にもう一枚、タオルケットなどを使われることをお勧めします。温度設定も高くしそうな時は、こまめにチェックしてくださいね。乳幼児や体の不自由な方などは自分で対処できないこともありますので周りの人が注意してあげて下さい。

今月のホムドクの一言

— やけどには 気をつけましょう 低温も —